

人の前には命の道と死の道が置かれている。主の御名を呼び命と死を識別し、命の道を取り、祝福された学生生活やビジネスライフを歩む

1. 申30:19 私はあなたの前に、命と死、祝福とのろいを置いた。それゆえあなたは命を選びなさい。それはあなたもあなたの子孫も生き、20 エホバ・あなたの神を愛して、彼の御声に聞き従い、彼にしっかり結びつくためである。
2. 神の命だけが、命と考えられることができます。神の内容とは、神の存在であり、神の流れ出とは、神ご自身を命として私たちに分け与えることです。
3. 私たちは人の前にある二つの選択、命の木(神に依存すること)と善悪知識の木(神から独立すること)を見ます。
4. 私たちは、クリスチャン生活と召会生活において、善か悪にしたがってではなく、命か死にしたがって、事柄を識別するべきです。
5. サタンの特別な目的は、死を召会の内側で拡大させることです。サタンが召会に関して最も恐れるのは、召会が彼の死の力に対抗することです。
6. コロナウイルスのニュースを聞く時、命を選び、祈って福音の霊を燃やします。

適用：学生の本分は勉強であり、ビジネスパーソンの本分は仕事である。
自分の本分である勉強あるいは仕事について命の中で、忠信に取り組む

1. あなたの自分の本分に取り組む姿勢は、命の中で、主からいただいた一タラント(霊の賜物)を積極的に用いることです。
2. 主の再来の時、彼はあなたの「命の成長」と「忠信にタラントを用いて福音と牧養を実行し儲ける」ことを見られます。実はこの二つは一つです。
3. 自分の本分について命の中で取り組むため、神に信頼し、主に祈り、兄弟姉妹と交わってください。そして主の証しのために、命で満たされて、一タラントを積極的に、進取的に用いて忠信に労苦してください。
4. 信者は決して劣等生や役に立たない社員であり続けてはいけません。神も、歴代の聖徒たちも、全被造物も、あなたが命の中で霊の賜物を活用し、主を表現する優等生、優れた社員となることを期待しています。
5. **祈り**：「毎日主の御名を呼び、御言葉を祈り読みし、主を食べ飲み享受し、命の供給を受け続けます。そして、御言葉を私の本分である勉強や仕事に結び付け、適用します。流れる命が私の実生活の中に流れ込んでください！」